

地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所 平成25事業年度業務実績に関する評価結果の概要

大阪府地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所評価委員会
(事務局：大阪府財務部行政改革課)

地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所の各事業年度の業務実績については、地方独立行政法人法に基づき、大阪府地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所評価委員会による評価を受けることとなっており、平成26年9月2日に開催された平成26年第3回評価委員会において、平成25事業年度の業務実績の評価結果が決定されました。

全体評価 「全体として年度計画及び中期計画のとおりに進捗している」

○ 4つの大項目全てにおいて、A評価（「計画どおり」進捗している）が妥当であると判断した。

○委員会コメント

「平成25事業年度計画におけるいずれの数値目標も達成し、課題を抱える企業を戦略的に訪問し、課題解決につなげる「ものづくりリエゾンチーム」の設置など、企業ニーズに対して十分に応えた活動を実施していることを高く評価した。今後も引き続きこれらの活動を継続するとともに、企業ニーズに的確に対応し、顧客目線での新サービスを提供するなど、産技研の機能を更に充実させ、中小企業の技術的支援拠点として、大阪の産業振興に貢献することを期待する。」

住民に対して提供するサービス その他の業務の質の向上	S	A	B	C	D	課題解決力強化のための「ものづくりリエゾンチーム」の設置や、「提案型」企業支援実施など、企業ニーズに的確に対応し、顧客目線での新サービスを実施した。 また、産技研ラボツアーの実施や機器紹介動画の作成・上映を行い、大幅に依頼試験及び設備機器開放件数を伸ばすなど、サービス向上に取り組み中期計画を着実に進捗していることが認められた。
業務運営の改善及び効率化	S	A	B	C	D	経営企画室が中心となって、理事会・経営会議・四半期報告会等を運営する中で、法人運営の重要な方針決定や業務進捗の管理を行い、適切に組織マネジメントを進めた。 独自の総務事務システムを活用するとともに、物品購入時の検品窓口を総務課に一元化するなど事務処理の簡素化・効率化を推進しており、計画どおり進捗していると認められた。
財務内容の改善	S	A	B	C	D	自己収入増加に向けた各種の取組、外部資金獲得のためのサポート体制を整備し、前年度を上回る収入となった。 支出面では予算の効率的・効果的執行により、2億7,600万円の当期総利益を計上し、財務内容の改善がなされていることから、計画どおり進捗していると認められた。
その他業務運営に関する重要事項	S	A	B	C	D	建物及び附属設備の改修における、空調熱源改修工事をCM方式により業者を選定するとともに、課題となっていた北側未利用地の活用案を絞り込み、中間報告書にまとめた。 また、設備機器の計画的な導入・保守点検を実施し、職員研修などを通して、情報漏洩や実験上の負傷といったリスク管理上の重大事案は発生させなかったことから計画どおり進捗していると認められた。

○ 評価区分

S：特筆すべき進捗状況 A：計画どおり B：おおむね計画どおり
C：やや遅れている D：重大な改善事項あり